

平成7年度文部科学大臣表彰（優秀教職員）被表彰者功績等

1 教職員（優秀教職員）（20名）

所属・職・氏名（年齢）	教職員 経 験 年 数	道教育 実践表 彰年度	主 な 実 践
<p>岩見沢市立南小学校 教諭 しもの りさ 下 野 里 紗 (40歳)</p>	<p>18年</p>	<p>令和 6 年度</p>	<p>長年にわたり、小学校教諭として、体育科の指導方法に係る実践的な研究に取り組み、授業改善の充実に尽力するとともに、体育専科教員として地域の体力・運動能力の向上に向けた取組を推進するなど、創意工夫ある教育活動を展開している。 特に、学級担任等と連携したティーム・ティーチングによる指導の充実、ICTを効果的に活用した実践の工夫など体育科の指導方法の改善・充実にに向けた取組は他の教員の模範となっており、本道及び管内の体力・運動能力の向上に向けた教育の振興と充実に大きな成果を上げている。 また、体育専科教員活用事業における体育専科教員として、近隣の小学校を巡回し、巡回先の教員と連携した授業づくりに努め、指導の充実に中核的な役割を果たすなど、その実践が高く評価され、令和6年度に北海道教育実践表彰（教職員表彰）を受賞した。 上記実践表彰を受賞後も、教員向け体育科通信を発行するなど、自己研さんに努めている。</p>
<p>北海道滝川高等学校 教諭 あまや ようすけ 天 谷 洋 祐 (42歳)</p>	<p>16年</p>	<p>令和 6 年度</p>	<p>長年にわたり、高等学校の数学科教諭として、生徒が主体となる探究的な学習活動に取り組み、その成果を北海道教育委員会が実施するCAB学力テストの作成委員としての作問のほか、各種研究協議会における研究発表や提言、「高等学校教育課程編成・実施の手引」の執筆などを通じて発信するなど、本道教育の発展に貢献している。 特に、現任校においては、SSH指定校事業の研究開発において中核的な役割を果たし、本事業第I期に理数科で開発した探究活動を第II期で普通科に波及させる際、全ての教員が課題研究に関わるティーム・ティーチングによる指導体制を確立し、生徒の主体的な活動を推進する授業形態を定着させるなど、大きな成果を上げており、その実践が高く評価され、令和6年度に北海道教育実践表彰（教職員表彰）を受賞した。 上記実践表彰を受賞後も、生徒が主体となる探究的な学習活動の一層の充実にに向けて取り組むなど、普及啓発及び自己研さんに努めている。</p>
<p>北広島市立大曲中学校 主幹教諭 おおはた ようへい 大 畑 洋 平 (44歳)</p>	<p>13年</p>	<p>令和 6 年度</p>	<p>長年にわたり、中学校の外国語科教諭として、外国語教育の充実に尽力するとともに、教務主任や主幹教諭として学習指導要領の趣旨や北海道の教育施策を反映させた教育課程の編成を推進する中で、創意工夫ある教育活動を展開している。 特に、独立行政法人教職員支援機構が主催する中央研修で身に付けた小・中両校種における外国語教育の専門性や、ICTの活用を取り入れた実践は他の模範となっており、本道並びに管内の外国語教育の振興と充実に大きな成果を上げている。 また、北海道教育委員会の事業において、今必要とされる外国語教育、道徳教育、ふるさと教育などに関する指導や評価の在り方、教育課程編成の充実に中核的な役割を果たすなど、その実践が高く評価され、令和6年度に北海道教育実践表彰（教職員表彰）を受賞した。上記実践表彰を受賞後も、実践を継続し、自己研さんに努めている。</p>

所属・職・氏名（年齢）	教職員 経 験 数 年 数	道教育 実践表 彰年 度	主 な 実 践
北海道札幌南高等学校 教諭 よしだ そうすけ 吉 田 奏 介 (46歳)	17年	令和 6 年度	<p>長年にわたり、高等学校教諭として、ICTを効果的に活用した授業実践を展開し、その成果を校内研修を通じて還元するなど、授業改善に努めてきたほか、ICTを活用したオンライン授業配信の体制整備に尽力するとともに、ICT・情報委員会の委員長として学習環境の整備やBYOD導入に向けた校内体制の構築を推進した。特に、令和5年度からエビデンスに基づく資質能力育成事業の指定を受けた前任校において、市内中学校4校と連携したICTの活用実践や探究的な学びに係る授業の交流などに先頭に立って取り組み、中心的な役割を果たした。</p> <p>また、令和2～5年度には、学力テスト等の開発・改善委員を務め、ICTの活用及び探究的な学びの視点を基に、全道の高校生の学力向上及び実態把握に向けた問題を作成するなど、その実践が高く評価され、令和6年度に北海道教育実践表彰（教職員表彰）を受賞した。</p> <p>上記実践表彰を受賞後も、授業改善を探究し、普及啓発及び自己研さんに努めている。</p>
北海道札幌北陵高等学校 教諭 いたばし しょう 板 橋 翔 (43歳)	13年	令和 2 年度	<p>長年にわたり、高等学校の理科教諭として、熱心に教科指導を行うとともに、地域連携協力校・特例校の派遣教員及びセンター校所属として遠隔授業に力を注いだ。特に、北海道士別翔雲高等学校在籍時には、小学校理科校内研修支援事業の支援員として士別市立士別小学校と士別市立温根別小学校で「天気の変化」の単元の授業を行ったほか、授業改善セミナー（教科指導講座）道北ブロックの授業改善スペシャリストとして遠隔授業を研究授業として公開し、高評価を得るなど、その実践が高く評価され、令和2年度に北海道教育実践表彰（若手教職員等奨励賞）を受賞した。</p> <p>上記実践表彰を受賞後も、令和3年度から北海道において遠隔授業機能を集約した「北海道高等学校遠隔授業配信センター」において、理科教育における新しい授業スタイルを導入するなど、全国の教育機関に対し遠隔授業の普及啓発するとともに、自己研さんに努めている。</p>
北海道札幌英藍高等学校 養護教諭 はしづめ えむ 橋 詰 絵 夢 (43歳)	25年	令和 3 年度	<p>長年にわたり、高等学校の特別支援教育コーディネーターとして、特別支援教育の充実に向けた取組を推進するとともに、教育相談担当教員として教育相談の充実に向けた取組を推進するなど、創意工夫ある教育活動を展開している。</p> <p>特に、前任校在任時に弟子屈町の特別支援教育推進会議会員として、特別支援教育の充実に貢献することで地域からの信頼を得て、学校と地域をつなぐ要として活躍したほか、平成30年度から実施している高校生ステップアップ・プログラム指定校事業では、アセスメントの効果的な活用やスクールカウンセラー等との連携により、生徒のコミュニケーション・スキルの向上及び不登校や中途退学の防止等のために中心的な役割を果たすなど、その実践が高く評価され、令和3年度に北海道教育実践表彰（教職員表彰）を受賞した。</p> <p>上記実践表彰を受賞後も、各種研究会や校内研修において実践発表するなど、教育活動の発展・充実及び自己研さんに努めている。</p>

所属・職・氏名（年齢）	教職員 経 験 数 年 数	道教育 実践表 彰年度	主 な 実 践
北海道当別高等学校 教諭 ふるや ともゆき 古 谷 知 之 （44歳）	17年	令和 6 年度	<p>長年にわたり、高等学校の数学科教諭として、生徒が主体的に学ぶ授業を目指した教材研究を行ってきたほか、総合的な探究の時間に生徒の資質・能力の育成に対する可能性を感じ、有志生徒による地域探究活動を先駆けて実施した。</p> <p>特に、「北海道CLASSプロジェクト」の趣旨である「地域の教育資源や人材の活用」の達成を目指し、生徒が社会へ参画する取組に工夫を重ね、地域と学校の連携・協働による創意工夫ある教育活動を展開させるとともに、総合的な探究の時間における年間計画やシラバスの工夫、生徒の探究テーマと地域の産学官とのマッチングが円滑となる仕組み「粘議場」を創り上げるなど、その実践が高く評価され、令和6年度に北海道教育実践表彰（教職員表彰）を受賞した。</p> <p>上記実践表彰を受賞後も、生徒たちとの地学協働活動や教職員に対する研修等を実践するなど、自己研さんに努めている。</p>
北海道札幌あいの里高等支援 学校 教諭 けら かずひと 解 良 和 人 （49歳）	22年	令和 6 年度	<p>長年にわたり、特別支援学校教諭として、高等支援学校普通科における教育課程の開発に取り組み、学校の教育目標の実現に向け、総合的な探究の時間を教育課程の編成の中核に位置付け、インターンシップなどの地域と協働した教育活動を教科等横断的に実践している。</p> <p>特に、地域住民や企業、事業所等と連携・協働して活動する「あいcircle」では、企画、運営などの中心的な役割を担うとともに、学校運営協議会の意見を基に、共生社会の実現へとつながる様々な機会を構築したほか、総合的な探究の時間においては、インターンシップや大学生との交流及び共同学習等、生徒自身が学びに対する意味付けや価値付けをすることができるよう、生きる力を着実に身に付けさせるための取組を推進し、その実践が高く評価され、令和6年度に北海道教育実践表彰（教職員表彰）を受賞した。</p> <p>上記実践表彰を受賞後も、本活動を基軸として、地域と連携した取組の普及啓発及び自己研さんに努めている。</p>
小樽市立稲穂小学校 教諭 うちの こうき 内 野 晃 樹 （46歳）	17年	令和 6 年度	<p>長年にわたり、小学校教諭として、望ましい人間関係をつくるためのコミュニケーション能力を遺憾なく発揮し、児童との信頼関係の下で安定した学級経営に努めてきたほか、自身が培った日常実践のポイントを積極的に発信するなど、管内の授業改善に向け創意工夫ある教育活動を展開している。</p> <p>特に、新しいかたちの学びの授業力向上推進事業推進教員として、ICTの効果的な活用方法を具体的に示すとともに、ICT活用の活性化を図り、組織的な授業改善の取組について管内に広く発信するなど、管内の学力向上の取組の充実に大きな成果を上げている。</p> <p>また、ICTを効果的に活用した学校業務の効率化の事例紹介や各校の実践紹介のほか、ICTの活用研修を実施するなど、ICTを効果的に活用した教育活動の充実に中核的な役割を果たしており、その実践が高く評価され、令和6年度に北海道教育実践表彰（教職員表彰）を受賞した。</p> <p>上記実践表彰を受賞後も、ICTを活用した授業改善に係る先進事例の収集など、自己研さんに努めている。</p>

所属・職・氏名（年齢）	教職員 経 験 数 年 数	道教育 実践年 度	主 な 実 践
北海道ニセコ高等学校 教諭 なかたに ともき 中 谷 知 記 （47歳）	24年	令和 6 年度	<p>長年にわたり、高等学校教諭として、学校運営の中核を担い、地域資源を活用した教育に取り組むことで、地域で活躍する人材の育成に貢献するとともに、企業と積極的に連携するなど、創意工夫に満ちた先進的な教育を展開している。</p> <p>特に、現任校では教育課程の見直しを主導し、従来の観光コースを「グローバル観光コース」として編成することで、生徒がグローバルな視点と地域貢献意識を持てるよう、海外ホテルと連携した長期研修事業を推進するなど、国際性豊かな人材の育成に貢献している。</p> <p>また、ニセコ町が目指す持続可能な観光の実現に向け、地域観光をマネジメントできるリーダー人材を育成するため、リーダー研修や大学と連携したまちづくりに関するフィールドワーク等を実施し、生徒の地域課題解決意識の向上を図るなど、その実践が高く評価され、令和6年度に北海道教育実践表彰（教職員表彰）を受賞した。</p> <p>上記実践表彰を受賞後も、教育成果の普及啓発及び自己研さんに努めている。</p>
北海道伊達開来高等学校 教諭 みやかかわ めぐむ 宮 川 萌 （42歳）	17年	令和 5 年度	<p>長年にわたり、高等学校教諭として、学校教育と地域の社会教育が連携し、科学の面白さや科学を巡る課題を人々に伝え、ともに考え、意識を高める「科学コミュニケーション」に取り組んできたほか、ボランティア活動としての登山道の整備や自然公園の遊歩道の整備といった自身の活動に加え、自校の科学部生徒や部以外の生徒がそうした活動に主体的に参加できる場をつくるなど、創意工夫ある教育活動を展開している。</p> <p>特に、地域の自然活動団体と協働した総合的な探究の時間における教材研究に取り組み、風力発電施設の見学や自然公園の高校生講師による一般見学会の企画運営等地域探究学習の充実に尽力し地学探究学習の先駆けとなるモデルを実施しているほか、これらの成果を校内研究会等で研究発表するなど、本道の科学教育の充実に多大なる貢献をしており、その実践が高く評価され、令和5年度に北海道教育実践表彰（教職員表彰）を受賞した。</p> <p>上記実践表彰を受賞後も、南極観測隊の同行者としてオンライン中継による授業展開の実施に向けて取組を進めるなど、普及啓発及び自己研さんに努めている。</p>
北海道七飯養護学校 教諭 ねいち まもる 根 市 護 （53歳）	24年	令和 6 年度	<p>長年にわたり、特別支援学校の特別支援教育コーディネーターとして、専門性を生かしながら、地域の小・中学校及び高等学校を積極的に支援している。</p> <p>特に、小・中学校に在籍する障がいのある児童生徒の教育的ニーズに応じた適切な支援の充実に向けて取り組み、授業場面の観察等を基にした教育相談を行うことで教員の専門性向上に尽力している。</p> <p>また、特別支援教育パートナー・ティーチャー派遣事業では、30分のリモート研修を複数回開催し、通常の学級等で行う支援の考え方や効果的な教材の紹介のほか、長期休業中には校内外の特別支援学校の教員向けの実践的な研修を開催するなど、地域の特別支援教育の発展に貢献しており、その実践が高く評価され、令和6年度に北海道教育実践表彰（教職員表彰）を受賞した。</p> <p>上記実践表彰を受賞後も、七飯町立七飯中学校の通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする生徒や特別支援学級に在籍する生徒への助言を行うなど、本実践の継続及び自己研さんに努めている。</p>

所属・職・氏名（年齢）	教職員 経 験 数 年 数	道教育 実践表 彰年 度	主 な 実 践
北海道名寄高等学校 教諭 やまもと しんぺい 山 本 真 平 (37歳)	12年	令和 6 年度	<p>長年にわたり、高等学校の音楽科教諭として、高い専門性を発揮し、初任段階教諭の指導として、研究授業の講評、若手教員との面談及び業務の助言のほか、令和3～5年度までは学年主任として、生徒指導、進路指導に力を発揮し、生徒や保護者からも厚い信頼を得ている。</p> <p>特に、令和3年度から名寄市内高等学校魅力化推進委員会委員として、令和5年度には名寄高等学校学校運営協議会委員として、統合した学校の魅力化推進及び本校のカリキュラム・マネジメントの視点の一つである「地域との持続可能な連携・協働」を目指すための校内整備を行ったほか、学校運営協議会委員による、地域資源を活用した進学・就職向け外部講師による模擬面接を実現するなど、学校の魅力化に貢献しており、その実践が高く評価され、令和6年度に北海道教育実践表彰（教職員表彰）を受賞した。</p> <p>上記実践表彰を受賞後も、実践の幅を広げ、進路指導部長として生徒のキャリア形成や地域住民との関わりを重視した取組を実施するなど、自己研さんに努めている。</p>
湧別町立ゆうべつ学園 教諭 にしむら りょうこ 西 村 亮 子 (39歳)	15年	令和 4 年度	<p>長年にわたり、小学校教諭として、児童の自尊感情を高め、自己実現を図る特別活動の実践を推進するとともに、公開研究会を開催し、学校視察を通じて教育実践を広く発信した。</p> <p>特に、特別活動を基盤に、学級会や係活動、学校行事を通じて児童の自治的能力や社会参画力の育成を推進するとともに、小中一貫教育を見据えた9年間カリキュラム・マネジメントを全職員とともに進め、読解・記述力向上に資する授業改善に尽力した。</p> <p>また、学級経営においては、「誰もがリーダーでありフォロワーである」を重視し、子ども主体の活動で学級が安心できる居場所となり、学校全体に好循環をもたらしたほか、若手教員への助言や研究会発表を通じて教員の資質向上に貢献するなど、その実践が高く評価され、令和4年度に北海道教育実践表彰（教職員表彰）を受賞した。</p> <p>上記実践表彰を受賞後も、研究紀要や教育書籍への寄稿に取り組むなど、普及啓発と自己研さんに努めている。</p>
佐呂間町立佐呂間中学校 教諭 いとう ひろし 伊 藤 浩 司 (43歳)	18年	令和 6 年度	<p>長年にわたり、中学校教諭として、運動が苦手な児童生徒でも、生涯にわたり、性や障がいの有無などの様々な違いを越え、ともにスポーツに親しむことができることをねらいとした授業を展開している。</p> <p>特に、北見市立学校在籍時には、北見市体力向上推進委員として、新体力テストの結果を基に、幼少期から付けておきたい体力について発信するなど、系統性のある指導実践に寄与した。</p> <p>また、令和4年度初任段階教員研修（2年次研修）の講師を務め、保健体育科の授業を公開するとともに、指導計画及び手立ての充実について、初任段階教員に指導助言したほか、令和4年度中学校体力向上推進教員として、校内の体力向上プランを作成し、指導方法等の工夫・改善に関する実践研究を行うなど、その実践が高く評価され、令和6年度に北海道教育実践表彰（教職員表彰）を受賞した。</p> <p>上記実践表彰を受賞後も、児童生徒の体力向上を目指した授業づくりやICT活用について実践を進めるなど、普及啓発及び自己研さんに努めている。</p>

所属・職・氏名（年齢）	教職員 経 験 数 年 数	道教育 実践表 彰年 度	主 な 実 践
帯広市立栄小学校 教諭 ところ ひろき 所 弘 輝 (49歳)	21年	令和 6 年度	<p>長年にわたり、小学校教諭として、ICTを活用した授業改善を推進し、端末を活用した学習過程のデザイン及び1人1台端末の授業における効果的な活用方法について帯広市内の全小・中学校に指導助言を行うなど、「主体的・対話的で深い学び」の視点に立ったICTを効果的に活用した授業改善に貢献している。</p> <p>特に、授業改善推進チーム活用事業の授業改善推進教員として、学習支援アプリを活用した授業づくりや効果的な活用方法を発信するなど、本道及び管内の授業改善に大きな役割を果たしている。</p> <p>また、前任校では研修部長を務め、アウトプットを意識した授業づくりを推進するとともに、現任校では学力向上チームのGIGA担当リーダーとして、ICTを効果的に活用した授業改善や環境整備を通して学力向上の取組を進めるなど、その実践が高く評価され、令和6年度に北海道教育実践表彰（教職員表彰）を受賞した。</p> <p>上記実践表彰を受賞後も、真摯に授業改善や講座への参加を重ね、自己研さんに努めている。</p>
幕別町立白人小学校 教諭 しま のりこ 島 訓 子 (45歳)	22年	令和 6 年度	<p>長年にわたり、小学校の特別支援教育コーディネーターとして、特別支援教育の充実に向けた取組を推進し、校内支援体制の整備、就学に係る幼稚園・認定こども園・保育所や中学校との引継ぎ、関係機関との連携等の業務を行うなど、自立活動の充実に向けて取り組んでいる。</p> <p>特に、令和3年度から十勝管内の特別支援教育に係る専門家チーム委員を務め、管内の幼稚園や小学校等で巡回相談を実施し、幼児児童の特性に応じた適切な指導・支援について指導・助言を行うとともに、十勝教育局主催研修で教職員及び保護者を対象に自立活動に係る実践発表を行うなど、管内の特別支援教育の充実に大きな役割を果たしており、その実践が高く評価され、令和6年度に北海道教育実践表彰（教職員表彰）を受賞した。</p> <p>上記実践表彰を受賞後も、特別支援教育総合推進事業の専門家チーム委員を務めるなど、普及啓発及び自己研さんに努めている。</p>
幕別町立札内中学校 主幹教諭 ところ ともひろ 所 朋 宏 (40歳)	17年	令和 6 年度	<p>長年にわたり、中学校の保健体育科教員として、生徒の「やってみたい」「できて楽しい」を引き出す授業の創造に尽力するとともに、管内の保健体育科教員への指導助言に当たり、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に大きく貢献している。</p> <p>特に、令和3年度には、中学校授業実践セミナーの講師を務め、生徒が主体的に学習課題を追求することができるよう、プレイヤーの人数やルール、用具などを工夫した授業を公開し、その成果を広く発信するなど、本道及び管内の授業改善の推進に寄与している。</p> <p>また、十勝教育局主催の体力向上に係る管内の課題改善に向けた研修会「体育サマーフェスタ」の講師を務め、十勝教育局独自のサーキットトレーニングを中心に位置付けた授業実践を公開し、体力向上についての取組の普及に大きな成果を上げるなど、その実践が高く評価され、令和6年度に北海道教育実践表彰（教職員表彰）を受賞した。</p> <p>上記実践表彰を受賞後も、管内の中学校において体育研究の実践講義をするなど、普及啓発及び自己研さんに努めている。</p>

所属・職・氏名（年齢）	教職員 経験年 数	道教育 実践表 彰年度	主 な 実 践
釧路市立興津小学校 教諭 かけい ゆたか 寛 豊 (51歳)	21年	令和 6 年度	<p>長年にわたり、小学校教諭として、校内研修の推進、教員の授業改善、授業力向上に尽力してきたほか、新しいかたちの学び授業力向上推進事業における推進教諭として、国語科、算数科の授業における1人1台端末を活用した授業改善の取組を推進してきた。</p> <p>特に、児童同士の学び合いや聴き合いを促す「協働的な学び」を取り入れた授業改善に努め、自身の実践に係る資料等を釧路市内の全小・中学校へ提供する取組を行っている。</p> <p>また、釧路市の学力向上に係る教育的施策の成果と課題を検証し、改善を図る学力向上推進委員会に参加して授業実践説明を行うなど、授業力及び学力向上に貢献してきており、その実践が高く評価され、令和6年度に北海道教育実践表彰（教職員表彰）を受賞した。</p> <p>上記実践表彰を受賞後も、多様な子どもたちを誰一人取り残すことのない教育の実現に向けた1人1台端末の積極的活用を推進するなど、授業改善の取組の普及啓発や自己研さんに努めている。</p>
鶴居村立下幌呂小学校 教頭（推薦時：教諭） ふじの かずあき 藤野 和明 (50歳)	25年	令和 3 年度	<p>長年にわたり、小学校教諭として、児童に深い愛情を持って関わりながら、学級経営や教科指導に熱心に取り組むとともに、児童生徒の確かな学力の定着に向けて創意工夫ある教育活動を展開するなど、大きな成果を上げている。</p> <p>特に、外国語教育においては、弟子屈町、鶴居村の小学校外国語等巡回指導教員として、指導資料の作成や町・村内の研修会講師を務めるなど、町村における教員の模範となっており、本道並びに管内における外国語教育の振興と充実に大きな成果を上げている。</p> <p>また、令和2年度は、特別支援学級に在籍する児童への指導の充実に向けて、保護者や支援員等と連携を図る取組を推進するなど、取組の中核的な役割を果たすとともに、豊富な経験に基づき、若い教員へ丁寧な提言を行うなど、その実践が高く評価され、令和3年度に北海道教育実践表彰（教職員表彰）を受賞した。</p> <p>上記実践表彰を受賞後も、校内で外国語授業の専科指導を担うなど、自己研さんに努めている。</p>

※ 年齢及び教職員経験年数は、令和7年(2025年) 4月1日現在

2 教職員（若手教職員等奨励賞）（13名）

所属・職・氏名（年齢）	教職員 経 験 年 数	道教育 実践表 彰年度	主 な 実 践
<p>月形町立月形中学校 教諭 こん じゅな 今 樹 菜 (30歳)</p>	8年	令和 6 年度	<p>中学校の保健体育科教諭として、ダンスを通じた授業改善に取り組み、生徒の体力向上に向けた取組の充実に尽力するとともに、町の社会教育係と連携して地域のスポーツ振興を推進するなど、創意工夫ある教育活動を展開している。</p> <p>特に、月形小学校への出前授業や町内の教育研究会における授業公開、北海道月形高等学校との交流授業の授業者を率先して務め、北海道特別支援学級教育研究連盟全道大会では授業実践の成果に関する提言を行うなど、本道並びに管内の体力向上に向けた教育の振興と充実に大きな成果を上げている。</p> <p>また、町の社会教育係と連携し、小学生を対象としたジュニアダンススクールの創設やスポーツ推進委員としての町民の体力測定等の運営に携わったほか、地域の社会教育の推進にも尽力するなど、その実践が高く評価され、令和6年度に北海道教育実践表彰（若手教職員等奨励賞）を受賞した。</p> <p>上記実践表彰を受賞後も、自己研さんに努めている。</p>
<p>千歳市立末広小学校 教諭 まつだ じゅん 松 田 潤 (28歳)</p>	6年	令和 6 年度	<p>小学校教諭として、学級経営及び教科指導の改善・充実に尽力し、校内の初任段階教員研修において、ICTの効果的な活用方法を示すなど、若手教員の指導力向上に貢献している。</p> <p>特に、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、児童と単元計画の共有を図ることにより、身に付けさせた資質・能力を明確にするとともに、授業における「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に図るため、児童が自らICTを活用し、収集した情報を整理・分析して思考することができるような授業づくりを推進するなど、勤務校や石狩管内の授業改善の研究の充実に大きな成果を上げており、その実践が高く評価され、令和6年度に北海道教育実践表彰（若手教職員等奨励賞）を受賞した。</p> <p>上記実践表彰を受賞後も、研究部において研究推進を図り、石狩管内の国語部会において研究授業を行うなど、普及啓発及び自己研さんに努めている。</p>
<p>厚沢部町立厚沢部小学校 教諭 ふじた きょうたろう 藤 田 恭太朗 (30歳)</p>	8年	令和 6 年度	<p>小学校教諭として、学校力向上に関する総合実践事業の中核校の研究部長という重責を担い、道徳科の授業実践においては、「道徳科のねらいに応じた授業づくり」及び「多角的・多面的に思考するための工夫」（「発問」や「問い返し」、「実生活と結び付ける工夫」）等について研究を行い、実践を深めている。</p> <p>特に、ICT活用による多様な見方・考え方を引き出す工夫についての実践発表は、道徳科を要とした道徳教育の推進を図るなど、管内の道徳教育の充実・振興に貢献した。</p> <p>また、オール檜山「学び合い」プロジェクトの講師を務めるなど、若手ながら他の若手教員の模範となるとともに、自校のみならず、管内の人材育成にも寄与しており、その実践が高く評価され、令和6年度北海道教育実践表彰（若手教職員奨励賞）を受賞した。</p> <p>上記実践表彰を受賞後も、道徳教育推進教師並びに研究部長を担当し、公開授業の実施や研修視察へ出向くなど、自己研さんに努めている。</p>

所属・職・氏名（年齢）	教職員 経 験 年 数	道教育 実践表 彰年度	主 な 実 践
当麻町立当麻小学校 教諭 こたに そうた 小 谷 颯 汰 (27歳)	5年	令和 6 年度	<p>小学校教諭として、児童一人一人に寄り添いながら、互いの良さを認め合える学級づくりを行うとともに、「考え議論する道徳」の授業を目指して児童との対話を大切にしながら授業づくりを行うなど、創意工夫ある教育活動を展開している。</p> <p>特に、令和5年度は、道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業における上川管内道徳教育推進委員を務め、ICTを利用したアンケート結果の活用や児童の考えを深めることをねらいとした道徳科の授業を公開し、大きな成果を上げている。</p> <p>また、令和6年度は、上川管内道徳教育推進リーダーとして、道外視察に参加するとともに、北海道道徳教育研究大会上川・旭川大会において授業を公開するなど、管内の道徳教育の発展充実に大きく貢献しており、その実践が高く評価され、令和6年度に北海道教育実践表彰（若手教職員等奨励賞）を受賞した。</p> <p>上記実践表彰を受賞後も、日常の円滑な学級経営に資する授業改善を図るなど、自己研さんに努めている。</p>
北海道士別翔雲高等学校 教諭 おおもと けんた 大 本 健 太 (32歳)	7年	令和 6 年度	<p>国語科教諭として授業改善に取り組むとともに、令和4年度からキャリアガイダンス部部長を務め、進路指導と探究的な学びの在り方を再構築し、キャリア教育の充実に取り組んだ。</p> <p>特に、令和5年度第28回全国高等学校総合学科教育研究大会北海道大会兼第24回北海道高等学校総合学科教育研究大会の第3分科会で「コンピテンシーベースの総合学科を目指して～5つの資質・能力の育成」をテーマに、本校のキャリア教育で育成を目指すために設定された「5つの資質・能力」を生徒に意識させた教育実践について全国に発表するなど、成果を上げている。</p> <p>また、令和6年度は、生徒の進路実現に向けた進路相談会を計画し、外部機関と連携して生徒の多様な進路希望の実現に向けた事業運営を行うなど、キャリア教育の充実に大きく貢献しており、その実践が高く評価され、令和6年度に北海道教育実践表彰（若手教職員等奨励賞）を受賞した。</p> <p>上記実践表彰を受賞後も、自己研さんに努めている。</p>
北海道東川高等学校 教諭 たかはし しんたろう 高 橋 真太郎 (29歳)	4年	令和 6 年度	<p>高等学校教諭として、令和4年から3年間にわたり北海道教育委員会「S-T E A M教育推進事業」に授業研究チーム協力員及び授業者として取り組むなど、地理歴史・公民科教育の充実に尽力している。</p> <p>特に、令和5年度から、「東川学（総合的な探究の時間）」のプロジェクト委員会リーダーとして、東川町や外部の教育関連企業と協働したプログラムの立案から授業実施までを職員の中心となって行い、東川町の教育資源の活用や生徒の育成を目指す資質能力に合致した学習内容を展開するなど、その取組は大きな成果を上げている。</p> <p>また、令和6年度は北海道高等学校教育課程改善会議構成員（地理歴史）を務め、「高等学校教育課程編成・実施の手引き」を執筆し、全道の地歴公民科の担当教員に対して、今日的な課題も含めた授業改善の指針を示すなど、その実践が高く評価され、令和6年度に北海道教育実践表彰（若手教職員等奨励賞）を受賞した。</p> <p>上記実践表彰を受賞後も、各種授業研究会に参加するなど、普及啓発及び自己研さんに努めている。</p>

所属・職・氏名（年齢）	教職員 経 験 年 数	道教育 実践表 彰年度	主 な 実 践
北見市立三輪小学校 教諭 わたりば りく 渡 場 陸 (28歳)	6年	令和 6 年度	<p>小学校教諭として、ICTに関する高い知見をもって1人1台端末を効果的に活用した授業改善や校務におけるICTの効果的な活用等を行うなど、児童の情報活用能力を高めることで協働的な学びと個別最適な学びを実現し、学力向上に貢献した。</p> <p>特に、生活科・総合的な学習の時間におけるICT環境の更なる利活用について、チームで検討協議を行って実践化を図るなど、オホーツク管内のICT教育の充実に大きく貢献している。</p> <p>また、子どもたちが地域の良さを実感し、魅力を伝えたいという思いや願いを表現する活動として認定NPO法人ほっかいどう学推進フォーラムが推奨する「みち学習」を取り入れ、ICTを効果的に活用した情報収集・整理・発信の場面などを公開研究会で管内に発信するなど、その実践は高く評価され、令和6年度に北海道教育実践表彰（若手教職員表彰）を受賞した。</p> <p>上記実践表彰を受賞後も、「GIGA×深い学びの具現化」に向けて実践するなど、自己研さんに努めている。</p>
北海道美幌高等学校 教諭 かとう みつしろ 加 藤 光 城 (28歳)	5年	令和 6 年度	<p>高等学校教諭として、令和4年度第60回北海道高等学校教育研究大会理科部会（生物）において、「主体的・対話的で深い学び」を実現するための「対話的な授業実践」について研究発表を行い、自身の教育実践の成果を広く全道に発信している。</p> <p>特に、前任校在任時、湧別高校の魅力化について検討し、生徒の興味・関心に応じて探究学習を行う「湧別チャレンジ」の開設への道筋を作ったほか、地元企業や役場とも連携を図り、地元企業説明会の開催、大学等の教育機関への訪問等を企画するなど、充実した学びに大きく貢献している。また、中学校・義務教育学校と連携した授業公開を行ったほか、複数の大学教員を探究サポーターやアドバイザーとして招へいするなど、外部機関との連携を継続的かつ密に図ることで質の高い探究活動を展開しており、その実践は高く評価され、令和6年度に北海道教育実践表彰（若手教職員表彰）を受賞した。</p> <p>上記実践表彰を受賞後も、学校運営協議会を活用した探究活動の充実に努めるなど、自己研さんに努めている。</p>
北海道津別高等学校 教諭 ひらこ ゆう 平 子 裕 (29歳)	5年	令和 6 年度	<p>高等学校教諭として、探究学習の成果を進路指導につなげる取組を進め、生徒が自己理解の深化を図り、自主的に進路選択できる能力を養うための教育活動を展開している。</p> <p>特に、高大連携担当者として、当該教諭が中心となり、津別高校、津別町、北海道大学の3者連携の推進に尽力したほか、当該教諭が自ら企画立案し、北海道大学公共政策大学院と連携した取組の成果を地域のインターネット放送局を通じて広く発信するなど、本道の高大連携教育の振興と充実に大きな成果を上げている。</p> <p>また、地域と学校の連携に関する道内高校のフィールド研究を行っており、論文発表や研究発表を通して研究成果を広く社会に還元させるなど、その実践が高く評価され、令和6年度に北海道教育実践表彰（若手教職員等奨励賞）を受賞した。</p> <p>上記実践表彰を受賞後も、高等教育機関との連携を一層推進するなど、普及啓発及び自己研さんに努めている。</p>

所属・職・氏名（年齢）	教職員 経 験 年 数	道教育 実践表 彰年度	主 な 実 践
北海道興部高等学校 教諭 なりた あすか 成 田 明日香 （27歳）	5年	令和 6 年度	<p>高等学校教諭として、北海道教育委員会が主催する歴史総合の授業づくりに関する検討会に参加し、歴史総合の指導に関する研さんを深めるとともに、自身の授業を全道の地歴公民科教員に公開し、「歴史的な見方・考え方を活用し、生徒が主体的に探究に取り組む授業づくり」をテーマに成果と課題を提示するなど、実践的な知見を広く共有した。</p> <p>また、令和5年度第61回北海道高等学校教育研究大会地歴公民部会及び令和6年度第55回北海道高等学校世界史研究大会において研究発表を行い、自らの教育実践を積極的に発信している。</p> <p>さらに、令和5、6年度授業研究セミナーにおいて、協力員として運営に携わり、歴史総合における探究的な学びの在り方について協議を深め、その成果を普及しており、その実践が高く評価され、令和6年度に北海道教育実践表彰（若手教職員等奨励賞）を受賞した。</p> <p>上記実践表彰を受賞後も、他校とオンラインで合同授業を実施するなど、自己研さんに努めている。</p>
上士幌町立上士幌小学校 教諭 やまうち たかのり 山 内 崇 徳 （27歳）	5年	令和 6 年度	<p>小学校教諭として、自校の道徳教育推進教師を務め、全国学力・学習調査等の各種調査結果等を踏まえて他の教員と連携しながら道徳教育の全体計画や道徳科の年間指導計画等の見直しを行い、道徳教育の改善・充実に向けた取組を推進している。</p> <p>特に、道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業の教員、保護者、地域住民等が参加するシンポジウムにおいて、令和4年度には授業者、令和5年度にはシンポジストとして参加し、家庭と連携を図った実践等を広く発信するなど、十勝管内の道徳教育の充実に大きな成果を上げている。</p> <p>また、自身の授業力向上に向けて、自校のメンターチームの一員として、他の教員との相互授業参観を頻繁に行うとともに、様々な校外研修に参加し、得た知見を他の教職員に発信するなど、研修の中核的な役割を果たしており、その実践が高く評価され、令和6年度に北海道教育実践表彰（若手教職員等奨励賞）を受賞した。</p> <p>上記実践表彰を受賞後も、各種研修への自主的な参加や在外派遣制度を利用するなど、自己研さんに努めている。</p>
北海道更別農業高等学校 教諭 わたなべ たくみ 渡 邊 琢 益 （31歳）	9年	令和 6 年度	<p>高等学校教諭として、採用時から農業クラブ指導者として一貫して生徒とともに学校課題及び地域課題に取り組み、農業クラブ主催大会で発表の指導に当たっており、地域の関係者からの信頼も厚く、自校の特色ある活動の中核を担っている。</p> <p>特に、前任校在時、規格外じゃがいもの活用やでん粉粕の有効活用として肉牛の肥育試験を継続して研究し、「ようてい和牛」のブランド化に向けた取組が第73回日本学校農業クラブ全国大会令和4年度北陸大会で優秀賞を受賞した。</p> <p>また、令和6年度からは文部科学省DXハイスクールの指定校の担当教員としてスマート農業の導入に尽力し教科等横断的な学習を深化させるなど、その実践が高く評価され、令和6年度に北海道教育実践表彰（若手教職員奨励賞）を受賞した。</p> <p>上記実践表彰を受賞後も、スマート農業を積極的に取り入れ、地域への普及啓発及び自己研さんに努めている。</p>

所属・職・氏名（年齢）	教職員 経験 年数	道教育 実践表 彰年度	主 な 実 践
根室市立花咲小学校 教諭 なかた ゆりか 中 田 結梨香 (28歳)	6年	令和 6 年度	<p>小学校教諭として、学校課題である「健やかな心の育成」や「児童を主語とした学習づくり」の目標達成に向けて尽力し、児童一人一人の思いを大切にすると共感的な生徒指導と児童の考えを基に課題と学習活動を設定する児童の良さを生かした学習指導に取り組み、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を意欲的に行っている。</p> <p>特に、初任段階教員の授業を参観し、学校研究で目指す授業改善の視点から授業の工夫や良さを認め、前向きな評価を伝えるとともに、日常的に授業づくりの相談に乗るなど、その姿が全ての年齢層の教員の意欲向上に貢献している。</p> <p>また、「健やかな心の育成」を目指した道徳科の授業改善においては、児童が安心して学び、自己の生き方についての考えを深める授業改善の成果を、第57回北海道道徳教育研究大会根室・中標津大会で発表するなど、その実践が高く評価され、令和6年度に北海道教育実践表彰（若手教職員等奨励賞）を受賞した。</p> <p>上記実践表彰を受賞後も、児童生徒の学力向上に向け日々尽力するなど、自己研さんに努めている。</p>

※ 年齢及び教職員経験年数は、令和7年(2025年) 4月1日現在